

赤外線光散乱式ダスト濃度計

ISS-101

ISS-101



ISS-101



パージユニット

用途

ボイラ煙突入口での監視、ゴミ焼却炉煙突入口での監視、汚泥焼却炉煙突入口での監視、焼結炉煙突入口での監視、各種燃焼炉出口でのダスト濃度監視

▶ ダスト(粒子)に光を照射するとダストから光散乱が生じます。この光散乱光の散乱強度がダスト重量濃度と相関関係にあることを利用したダスト濃度計です。光散乱強度は、ダスト粒子(形状分布、組成、色等)が一定であれば、ダスト重量に比例する特性を有します。この性質を利用し、発光部からパルス光を吸引した測定ガス中のダストに照射し、発生する散乱光を受光部で検出、演算処理することにより、ダスト濃度(相対値)の連続測定が可能となります。

特長

- 高感度レンジ0 ~ 10mg / m<sup>3</sup>Nを標準装備
- 自動ゼロ点校正機能付きで、ゼロ点の指示安定性抜群
- プラント運転中でもゼロ・スパン校正可能
- 近似等速吸引方法であり、サンプルガス吸引方法に比べ、ガス流速の影響少なく、測定誤差が小さい
- ゼロ・スパン校正時のデータ自動取込み方式により、校正精度が向上
- 演算・自己診断機能を充実

仕様

型式	ISS-101
測定原理	光散乱方式
測定レンジ	0-10、0-25、0-100mg/Nm <sup>3</sup> (標準)
応答時間	15s以下(校正ガス切替時T90応答)
アナログ出力	DC4-20mA(2出力。瞬時値、移動平均、換算から選択)
校正	ゼロ/スパン2点校正(スパンは専用スパン棒による)
取付け	炉壁へ直結取付

測定方法	エゼクタ供給による簡易サンプリング(前処理不要)
電源	AC100V±10% 50/60Hz
外形(発信器)	約W366×D320×H463
重量	約40kg
外形(パージユニット)	約W400×D205×H450
重量	約25kg

構成図

